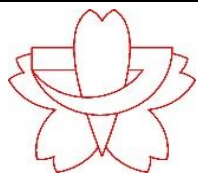


神河中学校学校だより 令和5年度 第10号



学校教育目標

明るく 楽しく 伸び伸びと
～ ふるさと神河を愛する生徒の育成 ～

発行: 令和6年1月9日(火)

令和5年度 3学期 始業式 式辞より

新年 あけまして おめでとうございます。

2024年の幕開けです。本年もよろしくお願いします。

あっという間の冬休みでしたが、充実した時間が過ごせましたか。

今日から3学期。最も短い学期ですが、それぞれの学年における「完成期」とすると同時に、4月からの新学年に向けての「準備期間」でもあります。

3年生の皆さんは、あと70日程すぎで公立高校の合格発表が終わる頃には、ほぼすべての人の進路が決定していることでしょう。また、皆さんにとって9年間の義務教育を終える3学期となります。「義務教育」ですから、親から「～しなければならない」と強制されていた期間が終了するわけです。つまり、これからは進学するにしろ就職するにしろ自分で考え、決断し、行動することが求められるのです。少し大げさですが大人への第一歩を踏み出す学期にしてください。

2年生の皆さんは、2学期から学校の主役を託され、校外的にも神河中学校の顔として活躍してくれています。そして、3学期にはその節目の1つである、3年生を送り出すという使命があります。「3年生を送る会」を企画・運営・実施するという責任ある立場となります。さらに3月8日の「卒業式」。これらの行事を通して、中堅学年としての完成とともに、最高学年に向かう自覚を期待しています。

1年生の皆さんへは毎年同じことを言っています。それは、「あこがれられる先輩になってください。」3学期には新入生説明会や体験入学があります。ほんの1年前に皆さんも体験したでしょう。

あの頃を思い返してみてください。「何部に入ろうかな？」など多くの不安と、「中学校で頑張るぞ」といった期待の入り混じった複雑な気持ちで未来を描いていたのではないのでしょうか。いまの自分はどうですか。残された3か月で中学校生活の基礎をより確かなものとし、4月から本当の意味での先輩になることを期待します。

最後になりますが

2024年がどんな年になるか。それは、みなさん一人一人の気持ち次第です。私からの提案です。この1年、自分の心の弱さと付き合ってみませんか。弱さにも色々あります。時間を守れない人。整理整頓が苦手な人。すぐ言い訳をする人。周りに頼ってばかりな人。こういった自分の弱さと向き合ってみませんか。1年もすればきっと何かが変わっているでしょう。新しい1年を自分の弱さと闘う年に見てみませんか。私もたくさんある弱さのうちの1つと付き合ってみることにします。

以上で式辞といたします。

1. 17に寄せて

今年の年明けは、想像すらできない能登半島の震災で迎えました。現地の人々のこれから先の1年を思うと、胸がしめつけられる思いです。

そして、阪神・淡路大震災から29年が過ぎようとしています。

能登からの映像を見ると、阪神・淡路大震災で炎に包まれた神戸長田の町の様子と東日本大震災で津波に襲われた三陸の町がクロスオーバーでよみがえりました。

明治の頃に活躍された寺田寅彦という学者さんが言われた言葉に、「天災は忘れた頃にやってくる」という有名なフレーズがあります。この人はこうも言われています。「文明が進めば進むほど自然による災害が、その被害のスケールを大きくする」と。

ということかということ、自然と共生していた原始時代なら、がんじょうな岩山の洞窟の中に住んでさえいれば、

たいていの地震や暴風でも平気だったでしょう。もう少し文化が進んで小屋を作るようになって、地震や暴風あって飛ばされてしまっても復旧は簡単だったでしょう。

ところが、文明が発達した現在はどうかという自然災害のたびに、住宅や道路が破壊され、ライフラインが寸断され、生き残った人たちは避難所での生活を余儀なくされるのです。スマホやPCも使えず、コンビニでは食料が手に入らなくなります。

自然災害の被害を受けた時、私たちは人間として「最低、生きるための力」を問われることになります。その「人間として生きる力」とは何でしょうか？自分たちの事に置き換えて考えてみましょう。仮に私たちが神河中学校体育館で避難所生活を送らなければならないと想定しましょう。

まずは、何でも食べることが出来るか、ということです。

私も、阪神大震災の際に、避難所をサポートするために応援に行ったのですが、「温かいもの」「新鮮なもの」が手に入りませんでした。もちろん、電気・ガス・水道・道路は使えません。

2つ目の力は、どこででも寝ることができることです。

この寒さの中、毛布だけでいろんな人が避難したこの空間で、1か月以上生活できるでしょうか？

そして3つ目の力は、誰とでも友だちになれることです。つまり助け合って生きることができるかです。

便利な世の中にはなりましたが、一方では自然に対して乱暴な扱いをするようになっていきます。それだけのしっぺ返しも大きくなるということです。

最後に最も大切な力。それは「いざという時は自分一人で判断する力」です。私たちは、皆のことを考えたり皆と一緒に何かをしたりすることは学校生活で訓練されています。また、「みんなが～」という意識や周囲の目を気にする習慣は知らず知らずのうちに身につけてしまっています。阪神大震災の際にも暴動や略奪が起こらなかったことは有名です。海外では考えられないことです。しかし、命の危険にさらされた際に、周りの動きを気にしている様では自分の命にさえ責任を持てないと言わざるを得ません。

能登半島での震災は、まだまだ収束には向かっているとは言えませんが、皆さんと一緒に少しでも自分事として考えて行きたいと思います。

2月の予定

SC～スクールカウンセラー来校日						
日	月	火	水	木	金	土
1月28日	29	30	31	2/1	2	3
神河マラソン	生徒朝礼	新入生説明会 SC	1年スキー実習 ～2/1(ハチ高原)	2年校外学習 (京都方面) 部終了17:25 SC	3年到達度テスト 公立推薦・特色・多部Ⅰ期願書受付開始～6日	土曜自学講座
4	5	6	7	8	9	10
	生徒朝礼 1・2年到達度テスト	公立推薦・特色・多部Ⅰ期願書受付終了12:00	ノー部活	SC		県内私立高校入試
11	12	13	14	15	16	17
建国記念の日 期末考査5日前	振替休日	生徒朝礼	PTA役員会	公立推薦・特色・多部Ⅰ期入試 SC	期末考査①	土曜自学講座
ノー部活						
18	19	20	21	22	23	24
	期末考査②	期末考査③ 公立推薦・特色・多部Ⅰ期合格発表	特別支援学校入試	公立学力検査・多部Ⅱ期願書受付開始～27日 SC	天皇誕生日	土曜自学講座
ノー部活						
25	26	27	28	29	3/1	2
	生徒朝礼	公立学力検査・多部Ⅱ期願書受付終了12:00	ノー部活 志願変更～3/1	特別支援学校合格発表 SC	志願変更終了12:00	

1月9日(火)より「あんしんメールアプリ」による欠席・遅刻連絡の受付を開始しています。当日8:00までにお願いします。
電話による連絡の場合は、**当日7:40以降、できるだけ8:00まで**にお願いします。(詳細は12月配布プリントを参照)

今年も図書カードを寄贈して頂きました。添えられていた手紙を紹介します。
例年、匿名で寄贈して頂いています。

今年も図書カードをお送りします。
お世話になった母校への恩返しのもりですので、どうぞお納めください。
私も司書教諭の講座を受け、読書開かせの大切さを学び、中高生にも効果があ
ることを知りました。
今年もコロナで行事の中止や変更があったかもしれませんが、元通り実施でき
た行事もあったと思います。大切な思い出にしてください。
生徒の皆さん、これからも勉強や部活動、地域行事に積極的に取り組んでくだ
さいね。
先生方、これからもお身体に気を付けて、後輩たちの教育をお願いします。
神河中学校の益々の発展をお祈りいたします。

令和5年12月
伊達直人